

財務諸表等

平成24年度
(第1期事業年度)

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

地方独立行政法人府中市病院機構

目 次

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
利益の処分に関する書類	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7
附属明細書	
(1) 固定資産の取得、処分及び減価償却費の明細	10
(2) たな卸資産の明細	11
(3) 長期借入金の明細	12
(4) 移行前地方債償還債務の明細	13
(5) 引当金の明細	14
(6) 資本金及び資本剰余金の明細	15
(7) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	16
(8) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	17
(9) 地方公共団体等からの財源措置の明細	18
(10) 役員及び職員の給与の明細	19
(11) 開示すべきセグメント情報	20
(12) 医業費用及び一般管理費の明細	21
(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	22
添付資料	
決算報告書	(別冊)
事業報告書	(別冊)
監査報告書	(別冊)

財務諸表

貸借対照表

(平成25年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		104,930,000	
建物	1,649,980,000		
減価償却累計額	△ 75,395,650	1,574,584,350	
構築物	21,690,000		
減価償却累計額	△ 3,777,721	17,912,279	
車両運搬具	3,922,868		
減価償却累計額	△ 1,656,415	2,266,453	
工具器具備品	292,325,747		
減価償却累計額	△ 62,623,715	229,702,032	
有形固定資産合計		1,929,395,114	
2 無形固定資産			
ソフトウェア		14,950,724	
無形固定資産合計		14,950,724	
3 投資その他の資産			
長期前払費用		102,940	
その他投資資産		5,900,524	
投資その他の資産合計		6,003,464	
固定資産合計			1,950,349,302
II 流動資産			
現金及び預金		262,456,244	
医業未収金	468,516,508		
貸倒引当金	△ 4,917,738	463,598,770	
未収金		5,297,970	
医薬品		12,595,196	
診療材料		10,871,155	
その他流動資産		5,616,023	
流動資産合計			760,435,358
資産合計			2,710,784,660

貸借対照表

(平成25年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
負債の部			
I 固定負債			
資産見返負債			
資産見返物品受贈額	36,444,741	36,444,741	
長期借入金		123,500,000	
移行前地方債償還債務		1,603,120,942	
引当金			
退職給付引当金		338,885,171	
固定負債合計			2,101,950,854
II 流動負債			
1年前返済予定移行前地方債償還債務		131,298,046	
未払金		286,583,121	
預り金		16,229,652	
引当金			
賞与引当金		116,766,879	
流動負債合計			550,877,698
負債合計			2,652,828,552
純資産の部			
I 資本金			
設立団体出資金		14,466,680	
資本金合計			14,466,680
II 利益剰余金			
当期末処分利益		43,489,428	
(うち当期総利益)		(43,489,428)	
利益剰余金合計			43,489,428
純資産合計			57,956,108
負債純資産合計			2,710,784,660

損益計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	1,688,194,086		
外来収益	1,185,519,268		
その他医業収益	90,117,454	2,963,830,808	
運営費負担金収益		268,350,000	
運営費交付金収益		198,493,408	
補助金等収益		10,513,920	
寄付金収益		22,978	
資産見返物品受贈額戻入		21,355,548	
営業収益合計			3,462,566,662
営業費用			
医業費用			
給与費	2,180,235,354		
材料費	505,174,484		
経費	568,481,176		
減価償却費	151,695,485		
研究研修費	8,899,698	3,414,486,197	
一般管理費			
給与費	5,571,980	5,571,980	
営業費用合計			3,420,058,177
営業利益			42,508,485
営業外収益			
運営費交付金収益		23,156,174	
財務収益			
受取利息	126,711	126,711	
その他営業外収益		15,069,672	
営業外収益合計			38,352,557
営業外費用			
財務費用			
移行前地方債利息	34,855,025		
長期借入金利息	50,454	34,905,479	
その他営業外費用		2,662,135	
営業外費用合計			37,567,614
経常利益			43,293,428
臨時利益			
貸倒引当金戻入益		196,000	196,000
当期純利益			43,489,428
当期総利益			43,489,428

キャッシュ・フロー計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	材料の購入による支出	▲ 983,367,703
	人件費支出	▲ 2,118,594,453
	医業収入	2,653,916,603
	運営費負担金収入	268,350,000
	運営費交付金収入	221,649,582
	補助金等収入	10,513,920
	その他の業務収入	12,024,620
	預り金の増減	11,444,149
	その他	3,482,878
	小計	79,419,596
	利息の受取額	126,711
	利息の支払額	▲ 34,905,479
	業務活動によるキャッシュ・フロー	44,640,828
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	定期預金の預入れによる支出	▲ 4,060
	定期預金の払戻しによる収入	100,000,000
	有形固定資産の取得による支出	▲ 119,832,768
	無形固定資産の取得による支出	▲ 1,090,000
	その他投資活動による支出	▲ 1,099,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 22,025,828
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	長期借入れによる収入	123,500,000
	移行前地方債償還債務の償還による支出	▲ 131,331,417
	財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 7,831,417
IV	資金増加額	14,783,583
V	資金期首残高	237,543,933
VI	資金期末残高	252,327,516

(注) V 資金期首残高は、府中市から承継を受けた金額です。

利益の処分に関する書類

(平成25年6月25日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 当期末処分利益		43,489,428
当期総利益	43,489,428	
II 利益処分額		
積立金	<u>43,489,428</u>	<u>43,489,428</u>

行政サービス実施コスト計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用			
医業費用	3,414,486,197		
一般管理費	5,571,980		
財務費用	34,905,479		
その他営業外費用	2,662,135	3,457,625,791	
(2)(控除)自己収入等			
医業収益	▲ 2,963,830,808		
寄付金収益	▲ 22,978		
財務収益	▲ 126,711		
その他営業外収益	▲ 15,069,672		
貸倒引当金戻入益	▲ 196,000	▲ 2,979,246,169	
業務費用合計			478,379,622
II 引当外退職給付増加見積額			5,182,909
III 機会費用			
地方公共団体出資の機会費用	81,013		81,013
IV 行政サービス実施コスト			483,643,544

注記事項

I 重要な会計方針

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4～38年
構築物	3～38年
車両運搬具	2～4年
工具器具備品	2～20年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しています。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品・診療材料の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法に基づく低価法によっています。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

医業未収金（患者負担分）の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率（回収不能率）により、回収不能見込額を計上しています。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職手当の自己都合要支給額に基づき計上しています。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しています。

(3) 賞与引当金

役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しています。

4. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しています。ただし、建設改良に要する経費（移行前地方債元金利息償還金）等については費用進行基準を採用しています。

5. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 出資の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成25年3月末における利回りを参考に0.560%で計算しています。

6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。なお、固定資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は長期前払消費税等（投資その他の資産の「その他投資資産」）に計上し、5年間で均等償却を行っています。

II 貸借対照表関係

府中市からの派遣職員に係る引当外退職給付見積額 82,846,437円

III キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	262,456,244	円
うち定期預金	10,128,728	
差引資金期末残高	<u>252,327,516</u>	

2. 重要な非資金取引

- (1) 権利の承継による資産の取得 1,754,910,000円
- (2) 無償譲渡による資産の取得 381,970,353円
- (3) 移行前地方債償還債務の計上 1,865,750,405円
- (4) その他の債務の承継 676,551,997円

IV 金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については安全性の高い金融資産で運用し、また、資金調達については、短期的な資金を銀行等金融機関からの借入により、長期的な資金を設立団体である府中市からの借入により調達してすることとしています。なお、設立に当たり、設立時において未償還であった企業債相当額を移行前地方債償還債務として計上しています。

資金の用途については、運転資金（主として短期）並びに事業投資資金及び移行前地方債償還債務弁済資金（長期）を想定しています。

当法人が保有する金融資産は主として診療報酬債権であり、このうち患者に対する医業未収金に係る信用リスクに対しては、内部のマニュアルに沿って回収管理を行うことで対応しています。

2. 金融商品の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

(単位：円)

	貸借対照表計上額 (※1)	時価 (※1)	差額
(1) 現金及び預金	262,456,244	262,456,244	—
(2) 医業未収金 (※2)	463,598,770	463,598,770	—
(3) 移行前地方債償還債務 (※3)	(1,734,418,988)	(1,859,417,113)	124,998,125
(4) 長期借入金	(123,500,000)	(123,877,677)	377,677
(5) 未払金	(286,583,121)	(286,583,121)	—

- (※1) 負債に計上されているものについては()で示しています。
- (※2) 医業未収金に対して計上している貸倒引当金を控除しています。
- (※3) 一年以内返済予定移行前地方債償還債務を含んでいます。

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資産

- (1) 現金及び預金、(2) 医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

負債

- (3) 移行前地方債償還債務、(4) 長期借入金

これらの時価は、元利金の合計額を、新規に同様の発行を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

- (5) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

V 賃貸等不動産に関する注記

当法人は医師用住宅を保有していますが、重要性が乏しいため、記載を省略しています。

VI 固定資産の減損の処理方法

1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、2 病院をそれぞれ個別の固定資産グループとしています。また、重要な遊休資産及び廃止の意思決定を行った資産については、固定資産グループから独立した資産として取扱うこととしています。

2. 共用資産の概要

重要な共用資産はないため、記載を省略しています。

VII 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

VIII 重要な後発事象

該当事項はありません。

財務諸表

(附属明細書)

(1) 固定資産の取得、処分及び減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高	摘要
					当期償却額	当期償却額		
有形固定資産	1,649,980,000	0	0	1,649,980,000	75,395,650	75,395,650	1,574,584,350	
(償却費損益内)								
建物	21,690,000	0	0	21,690,000	3,777,721	3,777,721	17,912,279	
構築物	1,345,000	2,577,868	0	3,922,868	1,656,415	1,656,415	2,266,453	
車両運搬具	170,987,847	121,337,900	0	292,325,747	62,623,715	62,623,715	229,702,032	
工具器具備品	1,844,002,847	123,915,768	0	1,967,918,615	143,453,501	143,453,501	1,824,465,114	
計	1,649,980,000	0	0	1,649,980,000	75,395,650	75,395,650	1,574,584,350	
非償却資産	104,930,000	0	0	104,930,000	0	0	104,930,000	
土地	104,930,000	0	0	104,930,000	0	0	104,930,000	
土地	1,649,980,000	0	0	1,649,980,000	75,395,650	75,395,650	1,574,584,350	
建物	21,690,000	0	0	21,690,000	3,777,721	3,777,721	17,912,279	
構築物	1,345,000	2,577,868	0	3,922,868	1,656,415	1,656,415	2,266,453	
車両運搬具	170,987,847	121,337,900	0	292,325,747	62,623,715	62,623,715	229,702,032	
工具器具備品	1,948,932,847	123,915,768	0	2,072,848,615	143,453,501	143,453,501	1,929,395,114	
計	20,722,708	2,470,000	0	23,192,708	8,241,984	8,241,984	14,950,724	
無形固定資産	0	109,510	6,570	102,940	0	0	102,940	
ソフトウエア	0	109,510	6,570	102,940	0	0	102,940	
長期前払費用	0	5,900,524	0	5,900,524	0	0	5,900,524	
投資その他の資産	0	6,010,034	6,570	6,003,464	0	0	6,003,464	
その他投資資産	0	6,010,034	6,570	6,003,464	0	0	6,003,464	
計	0	6,010,034	6,570	6,003,464	0	0	6,003,464	

(注) 期首残高には、府中市から承継又は無償譲渡された資産を記載しています。

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	5,077,335	291,561,420	0	284,043,559	0	12,595,196	
診療材料	4,485,987	143,887,647	0	137,502,479	0	10,871,155	
計	9,563,322	435,449,067	0	421,546,038	0	23,466,351	

(注) 期首残高には、府中市から承継されたたな卸資産を記載しています。

(3)長期借入金の明細

(単位:円)

銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
平成24年度 医療機器整備借入金	—	30,900,000	—	30,900,000	0.30%	平成31年9月	
平成24年度 医療機器整備借入金	—	58,500,000	—	58,500,000	0.30%	平成31年9月	
平成24年度 医療機器整備借入金	—	34,100,000	—	34,100,000	0.20%	平成32年3月	
計	—	123,500,000	—	123,500,000			

(4) 移行前地方債償還債務の明細

(単位:円)

銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
資金運用部資金	8,450,298	—	8,450,298	0	7.30%	平成24年9月	
資金運用部資金	6,798,013	—	2,180,162	4,617,851	3.85%	平成27年3月	
資金運用部資金	14,294,999	—	778,811	13,516,188	2.80%	平成39年3月	
資金運用部資金	468,220,702	—	25,100,600	443,120,102	2.00%	平成40年3月	
資金運用部資金	893,487,248	—	44,237,071	849,250,177	2.10%	平成41年3月	
財政融資資金	206,980,950	—	9,226,691	197,754,259	1.80%	平成43年3月	
簡易生命保険積立金	33,934,347	—	2,039,081	31,895,266	2.00%	平成38年9月	
財政融資資金	90,236,972	—	3,802,476	86,434,496	1.20%	平成45年3月	
財政融資資金	2,980,896	—	729,703	2,251,193	1.40%	平成28年3月	
財政融資資金	682,092	—	682,092	0	0.70%	平成25年3月	
両備信用組合	680,000	—	680,000	0	1.20%	平成25年3月	
財政融資資金	23,942,584	—	11,935,432	12,007,152	0.60%	平成26年3月	
庄原農協	220,000	—	112,000	108,000	1.57%	平成26年3月	
財政融資資金	20,741,304	—	6,886,159	13,855,145	0.40%	平成27年3月	
財政融資資金	6,000,000	—	—	6,000,000	0.90%	平成33年3月	
財政融資資金	50,900,000	—	12,629,841	38,270,159	0.50%	平成28年3月	
両備信用組合	2,200,000	—	550,000	1,650,000	1.00%	平成28年3月	
財政融資資金	23,200,000	—	—	23,200,000	0.30%	平成29年3月	
広島銀行	11,800,000	—	1,311,000	10,489,000	0.70%	平成29年3月	
計	1,865,750,405	—	131,331,417	1,734,418,988			

(5) 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	309,330,630	51,589,543	22,035,002	0	338,885,171	
賞与引当金	93,049,023	116,766,879	93,049,023	0	116,766,879	
貸倒引当金	4,792,000	4,917,738	0	4,792,000	4,917,738	
計	407,171,653	173,274,160	115,084,025	4,792,000	460,569,788	

(注) 貸倒引当金の当期減少額のその他には、洗替えによる戻入額を記載しています。

(6) 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金					
設立団体出資金	14,466,680	0	0	14,466,680	
計	14,466,680	0	0	14,466,680	

(7) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

① 運営費負担金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	負担金当期負担額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費負担金 収益	資産見返運営費 負担金	資本剰余金	小計		
平成24年度	0	268,350,000	268,350,000	0	0	268,350,000	0	
合計	0	268,350,000	268,350,000	0	0	268,350,000	0	

② 運営費負担金収益

(単位:円)

業務等区分	平成24年度負担分	合計
期間進行基準	268,350,000	268,350,000

(8) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細

① 運営費交付金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計		
平成24年度	0	221,649,582	221,649,582	0	0	221,649,582	0	
合計	0	221,649,582	221,649,582	0	0	221,649,582	0	

② 運営費交付金収益

(単位:円)

業務等区分	平成24年度交付分	合計
期間進行基準	198,493,408	198,493,408
費用進行基準	23,156,174	23,156,174
合計	221,649,582	221,649,582

(9) 地方公共団体等からの財源措置の明細

①補助金等の明細

(単位:円)

区分	当期交付額	左の会計処理内容					摘要
		建設仮勘定 補助金等	資産戻返 補助金等	資本剰余金	長期預り 補助金等	収益計上	
平成24年度病院群輪番制病院運営事業補助金	10,513,920	0	0	0	0	10,513,920	
合計	10,513,920	0	0	0	0	10,513,920	

(10) 役員及び職員の給与の明細

区分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役員	円 4,800,000 (771,980)	人 5 (3)	円 0 (0)	人 0 (0)
職員	1,519,004,107 (292,301,229)	239 (101)	22,035,002 (0)	5 (0)
合計	1,523,804,107 (293,073,209)	244 (104)	22,035,002 (0)	5 (0)

(注1) 支給額及び支給人数
非常勤職員については、外数として()内に記載しています。
また、支給人数については平均支給人数で記載しています。

(注2) 役員報酬基準及び職員給与基準の概要
役員報酬については、「地方独立行政法人府中市病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。
職員については、「地方独立行政法人府中市病院機構職員給与規程」及び
「地方独立行政法人府中市病院機構非常勤給与規程」に基づき支給しています。

(注3) 法定福利費
上記明細には法定福利費は含めていません。

(11) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分	府中市民病院	府中北市民病院	計	調整額	合計
営業収益	2,012,271,519	983,451,735	2,995,723,254	466,843,408	3,462,566,662
医業収益	1,997,799,541	966,031,267	2,963,830,808	0	2,963,830,808
運営費負担金収益	0	0	0	268,350,000	268,350,000
運営費交付金収益	0	0	0	198,493,408	198,493,408
資産見返負債戻入	3,935,080	17,420,468	21,355,548	0	21,355,548
その他営業収益	10,536,898	0	10,536,898	0	10,536,898
営業費用	2,175,551,273	1,244,506,904	3,420,058,177	0	3,420,058,177
医業費用	2,169,979,293	1,244,506,904	3,414,486,197	0	3,414,486,197
一般管理費	5,571,980	0	5,571,980	0	5,571,980
営業損益	▲ 163,279,754	▲ 261,055,169	▲ 424,334,923	466,843,408	42,508,485
営業外収益	9,623,591	5,572,792	15,196,383	23,156,174	38,352,557
運営費交付金収益	0	0	0	23,156,174	23,156,174
その他営業外収益	9,623,591	5,572,792	15,196,383	0	15,196,383
営業外費用	915,031	36,652,583	37,567,614	0	37,567,614
財務費用	50,454	34,855,025	34,905,479	0	34,905,479
その他営業外費用	864,577	1,797,558	2,662,135	0	2,662,135
経常損益	▲ 154,571,194	▲ 292,134,960	▲ 446,706,154	489,999,582	43,293,428
総資産	495,370,101	2,215,414,559	2,710,784,660	0	2,710,784,660
固定資産	111,358,749	1,838,990,553	1,950,349,302	0	1,950,349,302
流動資産	384,011,352	376,424,006	760,435,358	0	760,435,358

(注1) セグメントの区分については、地方独立行政法人府中市病院機構会計規程に基づき、経理単位(各病院及び法人本部)に区分しています。

ただし、法人本部の費用は府中市民病院に含めています。

(注2) 調整額は、2病院一括で交付されている運営費負担金収益及び運営費交付金収益です。

(12) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額	
医業費用		
給与費		
給料及び手当	1,204,345,008	
賞与	321,085,022	
賃金及び報酬	285,875,306	
退職給付費用	51,589,543	
法定福利費	317,340,475	2,180,235,354
材料費		
薬品費	283,466,586	
診療材料費	191,354,832	
給食材料費	24,343,734	
医療消耗器具備品費	5,599,670	
たな卸資産減耗費	409,662	505,174,484
経費		
厚生福利費	2,396,702	
旅費及び交通費	1,600,513	
職員被服費	1,073,428	
消耗品費	13,654,562	
消耗備品費	3,463,487	
光熱水費	61,356,956	
燃料費	17,884,889	
印刷製本費	4,720,259	
修繕費	29,425,308	
保険料	4,525,137	
賃借料	36,514,632	
通信運搬費	4,549,799	
広告宣伝費	158,954	
食料費	24,242	
委託料	270,687,486	
手数料	3,432,506	
諸会費	6,768,773	
会議費	14,216	
交際費	1,159,890	
地代家賃	7,056,574	
負担金	40,772,128	
租税公課	92,100	
控除対象外消費税償却費	1,200,382	
医業貸倒引当繰入額	321,738	
雑費	55,626,515	568,481,176
減価償却費		
建物減価償却費	75,395,650	
構築物減価償却費	3,777,721	
車両運搬具減価償却費	1,656,415	
工具器具備品減価償却費	62,623,715	
無形固定資産減価償却費	8,241,984	151,695,485
研究研修費		
図書費	2,673,256	
旅費	3,813,819	
研究雑費	2,412,623	8,899,698
		<u>3,414,486,197</u>
医業費用合計		
一般管理費		
給与費		
役員報酬	5,571,980	5,571,980
		<u>5,571,980</u>
一般管理費合計		

(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(現金及び預金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
現金	912,350	
普通預金	251,415,166	
定期預金	10,128,728	
合計	262,456,244	

(医業未収金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
入院未収金	286,489,027	
外来未収金	178,389,185	
その他	3,638,296	
合計	468,516,508	

(未払金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
給与費	115,093,224	
材料費	83,841,915	
固定資産購入費	5,463,000	
経費その他	82,184,982	
合計	286,583,121	

平成24年度 決算報告書

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

地方独立行政法人府中市病院機構

平成24年度 決算報告書

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
収入				
営業収益	3,156,850,000	3,446,982,051	290,132,051	
医業収益	2,928,500,000	2,969,601,745	41,101,745	診療単価の増等
運営費負担金	228,350,000	268,350,000	40,000,000	運営費負担金の計上科目組替えによる
運営費交付金収益	0	198,493,408	198,493,408	運営費交付金の追加交付と計上科目組替えによる
補助金等収益	0	10,513,920	10,513,920	
寄付金収益	0	22,978	22,978	
営業外収益	98,780,000	39,050,473	▲ 59,729,527	
運営費交付金	90,670,000	23,156,174	▲ 67,513,826	運営費交付金の計上科目組替えによる
その他医業外収益	8,110,000	15,894,299	7,784,299	
資本収入	226,980,000	123,500,000	▲ 103,480,000	
運営費交付金	80,980,000	0	▲ 80,980,000	運営費交付金の計上科目組替えによる
長期借入金	146,000,000	123,500,000	▲ 22,500,000	医療機器整備事業費の減
計	3,482,610,000	3,609,532,524	126,922,524	
支出				
営業費用	3,001,000,000	3,273,339,977	272,339,977	
医業費用	2,994,000,000	3,267,767,997	273,767,997	
給与費	1,889,000,000	2,151,628,893	262,628,893	2病院の医療機能に対応した職員体制確保による増等
材料費	655,000,000	510,036,552	▲ 144,963,448	医薬品及び診療材料費の減等
経費	441,333,000	596,758,102	155,425,102	修繕料、委託料及び負担金の増等
研究研修費	8,667,000	9,344,450	677,450	
一般管理費	7,000,000	5,571,980	▲ 1,428,020	
営業外費用	81,860,000	36,799,775	▲ 45,060,225	施設利用負担金を営業費用、経費に計上したことによる相違等
資本支出	276,021,000	264,036,472	▲ 11,984,528	
建設改良費	146,000,000	132,705,055	▲ 13,294,945	医療機器整備事業費の減
償還金	130,021,000	131,331,417	1,310,417	
計	3,358,881,000	3,574,176,224	215,295,224	
単年度資金収支(収入-支出)	123,729,000	35,356,300	▲ 88,372,700	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は以下のとおりです。

- (1) 決算額は消費税等込みの金額です。
- (2) 損益計算書に計上されている資産見返負債戻入は、決算額に含んでいません。
- (3) 損益計算書の医業費用に計上されている減価償却費は、決算額に含んでいません。
- (4) 損益計算書の医業費用(給与費)のうち退職給与引当金は決算額に含めず、退職金支払額を決算額に含めています。
- (5) 損益計算書の臨時損益は、決算額に含んでいません。

平成 24 年度
事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

目 次

府中市病院機構の概要

1 現況

- (1) 法人名 1
- (2) 法人の所在地 1
- (3) 法人役員 1
- (4) 設置・運営する病院 1-2
- (5) 職員数 2

2 府中市病院機構の基本的な目標 2

全体的な状況

1 法人としての総括と課題 2-3

2 大項目ごとの特記事項 3

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に
関する目標を達成するためとるべき措置 3
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため
とるべき措置 3-4
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 4
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 4

項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に

- 関する目標を達成するためとるべき措置 4

1 提供する医療の内容 4

- (1) 高齢化に対応した医療 4-5
- (2) 予防医療 5
- (3) 救急医療への対応 5
- (4) 災害医療への協力 6

2 診療機能の確保 6

- (1) 診療科目の整備 6
- (2) 小児救急医療及び分娩の再開 6

3 地域医療連携の推進 6

- (1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行 6-7

4 医師及び医療従事者の確保 7

- (1) 臨床研修体制の充実 7

(2) 看護系大学などとの連携	7
5 地域住民とともに守る病院づくり	7
(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上	7-8
(2) 医療安全対策の徹底	8
(3) 市民への積極的な情報提供	8
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	8
1 組織・機構の整備	8
2 職員教育体制の充実	8-9
3 事務職員の育成	9
4 働きやすい職場環境の整備	9
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	9
1 経営基盤の強化	9-10
2 収益の確保及び費用の節減	10
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	10
1 病院の建て替えへの対応	10
2 医療機器などの更新	11
第5 予算、収支計画及び資金計画（平成24年度）	12-14
第6 短期借入金の限度額	14
第7 剰余金の使途	14

地方独立行政法人府中市病院機構事業報告書

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶉飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ○ 日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ○ 日本呼吸器学会関連施設 ○ 日本透析医学会教育関連施設 ○ 日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ○ 広島大学病院協力型臨床研修病院 ○ 日本消化器病学会関連施設 ○ 日本整形外科学会専門医研修施設

所在地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病床数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診療科目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

(5) 職員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

内訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169	40	209
府中北市民病院	73	39	112
法人合計	242	79	321

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

法人設立の初年度は、2 病院の医療機能の維持、収支目標の達成、組織・職員体制の確立など、現状を把握し、中期計画を達成するための課題を再認識する年となった。

2 病院の医療機能については、法人による病院開設時に許可病床の削減（府中市民病院 199→150 床・府中北市民病院 110→70 床）、外科の常勤医師の法人内異動はあったが、2 病院の診療科の変更はなく、常勤医師の連携により診療機能を維持しました。しかし、2 病院間の医師の連携には負担も大きく、法

人として 2 病院の方向性を見定めたいと、常勤医師の招聘に取り組む必要があります。

収支目標の達成については、法人全体では経常収支比率（経常収益/経常費用）101.3%と黒字決算となりました。収益面での目標に対する達成率では、府中市民病院が外来 108.2%、入院 108.4%、府中北市民病院が外来 111.4%、入院 93.9%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）が 73.4%、医業収益比率が 86.7%であり、黒字決算は府中市の繰り入れがあって達成できるというのが、法人の財務状況である。この現状を踏まえ、中期計画で掲げた、経営面においても地方独立行政法人に相応しい自律的な業務運営によって、市民の期待に応える病院運営に努める必要があります。

組織について、初年度は毎月定例で理事会を開催し、2 病院の運営などの重要事項は、理事長を中心に理事会で決定することを確立しました。職員体制については、府中市民病院は法人職員・J A 広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と派遣職員で病院事業を継続しました。法人スタート時の J A 広島厚生連出向職員数は 93 人（H24.4.1）でしたが、新年度は 28 人（H25.4.1）になりました。今後も、法人としての職員体制を確立し、経営戦略に対応した職員配置を進める必要があります。

新年度では、課題の解消に向けて、積極的かつ具体的な取り組みを行います。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を開始し、また、府中北市民病院から府中市民病院に、内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携が始まりました。

府中市民病院では、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を整えました。加えて平成 25 年 1 月からは、外科の常勤医師が 1 名増の 3 名体制になりました。

府中市民病院は、平成 25 年 4 月から日本透析医学会により岡山大学病院の教育関連施設として新たに認定されました。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

府中市民病院、府中北市民病院ともに、毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善

を促す組織風土の醸成に努めました。

府中市民病院では新たな取り組みとして、年間を通して各職場における改善の取り組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市からの繰入金 4 億 9,000 万円により、経営を安定させることができましたが、中期目標の達成には法人独自の経営改革が必要です。

府中市民病院では、①医事課職員を積極的に研修会に参加させる、②睡眠時無呼吸症候群の検査を新規開始、③病棟におけるCSセットの導入、④備品・消耗品・修繕の依頼伝票の取扱い変更を行いました。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

府中市民病院の建て替えに着手し、各部署の職員ヒアリングを実施することで、設計業務に積極的に関わりました。新病院では、電子カルテを導入する方針を決定しました。

項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

【法人】病院と診療所、医療と介護など日常的な連携を図るため、多田理事長が医師会の会議等に積極的に出席、また地域の診療所の医師や介護施設を訪問するなど、顔の見える関係づくりに努めました。

【府中】訪問看護ステーションあゆみは、訪問看護・訪問リハビリを継続して実施しました。また、「在宅で終末期を迎える療養者を介護する家族を支える看護―看取りをした家族の満足感」についての研究発表が、日本看護協会の地域学術集会で「優秀発表賞」を受賞しました。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

平成 24 年度	訪問診療	訪問看護・訪問リハビリ
利用対象者数	—	74 人

【府中北】2 病院の常勤医師による訪問診療と、訪問看護・訪問リハビリを実施しました。今年度、訪問看護師を 1 名増員しました。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

平成 24 年度	訪問診療	訪問看護・訪問リハビリ
利用対象者数	5 人	27 人

【府中】 外来患者と家族を対象に、糖尿病教室を再スタートしました。

【府中北】 上下地域での健康教育講座や機能回復訓練を実施しました。

(2) 予防医療

【法人】 市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。

また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。

	健診種別	前年度	24 年度
府中市民病院	人間ドック	513	340
	特定健診	8	109
	がん検診	84	969
府中北市民病院	人間ドック	87	89
	特定健診	156	200
	がん検診	459	574

【府中】 健康管理室に、糖尿病認定看護師を室長として配置し、予防医療の推進体制強化を図りました。

(3) 救急医療への対応

【法人】 府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。

府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し府中地域の当番医減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。

		前年度	24 年度
府中市民病院	時間外患者数	3,579	3,397
	救急搬入患者数	227	238
府中北市民病院	時間外患者数	1,061	1,181
	救急搬入患者数	160	155

外科手術については、24 時間 365 日の緊急手術に対応する職員体制を整えました。緊急手術は、今年度 28 件行いました。また、法人 2 病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度 17 件でした。

(4) 災害医療への協力

【法人】今年度は、行政からの要請ありませんでした。

【府中】府中市の総合防災訓練に、常勤医師（1名）看護師（2名）が参加し、被災患者のトリアージ訓練を行いました。

【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しています。

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

【法人】今年度は、府中地域の近隣病院との連携の第一歩として、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行いました。今後も継続して会議開催し、府中地区医師会とともに府中地域の医療提供体制について協議します。

【府中】平成25年4月から府中地域の福山市新市町で開業する泌尿器科医（ときながクリニック、岡山大学泌尿器科）が、府中市民病院で診療（週1回）を開始することが決定しました。

I 【府中北】黒木整形外科リハビリテーションクリニックの依頼により、MRIの撮影を実施しています。

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。

現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。

		前年度	24年度
府中市民病院	外来患者数（人）	2,748	2,597
	子宮がん検診（件）	84	431
府中北市民病院	外来患者数（人）	898	603
	子宮がん検診（件）	62	64

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

【法人】市の第1回地域医療シンポジウムで、多田理事長が「府中市病院機構の使命」と題して、医療と介護の連携について発表し、具体的事業について市と継続協議中です。

【府中北】上下地域の医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月 1 回開催しています。

【法人】地域医療連携室の充実について、市の地域包括支援センターとの具体的な連携について協議を開始しました。「在宅支援システム」のツールとなる I C T 利用について、市と法人の職員が、長崎「あじさいネット」を視察し、府中地区医師会へ報告しました。

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ 2012」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。

しかし、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築には至っていません。

【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。

(実績 研修医 3 名・学生 2 名)

(2) 看護系大学などとの連携

【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。

また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

【府中】内科外来患者の診察前のバイタルサインチェック、体重測定により待ち時間の短縮を図るとともに、毎朝 1 時間、通院患者へのあいさつと介助を始めました。

【府中北】外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。

【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を開始しました。回診及び巡視には、総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境の把握に努めた結果、施設の修繕等に反映できました。

【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、

改善を図りました。

(2) 医療安全対策の徹底

【府中・府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。

【府中・府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。

(3) 市民への積極的な情報提供

【法人】市の健康&福祉まつりに、法人として初参加。2病院の看護師による健康相談を実施しました。

【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。今年初めて、病院の地元、鶯飼町内会の夏祭りに、出店による参加をしました。

【府中北】上下ひなまつりに病院として出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。

【法人】市の広報に、毎月、2病院の常勤医師と職員の紹介記事を掲載。病院のホームページは情報発信が弱く、改善が必要です。

病院広報誌の発刊数【府中】2回

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

【法人】法人設立の初年度のため、理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。

【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催しています。

【法人】府中市民病院は、厚生連の出向職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。

【府中・府中北】毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。

【府中】各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

2 職員教育体制の充実

【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。

区分	府中市民病院	府中北市民病院
医師	21	10
看護師	95	57
医療技術員	92	20
事務職員	15	17
合計（延人数）	223	104

【府中】緩和ケア認定看護師の資格取得のため、看護師 1 名を 6 ヶ月間の研修に参加させました。

【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しました。

【府中北】広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、市の多職種連携推進研修会で発表しました。

3 事務職員の育成

【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。

※事務職員の内訳（総務・人事・医事）の内訳

職員区分		H24.4	H25.4
府中市民病院	法人	4	6
	府中市	4	3
	厚生連	3	0
府中北市民病院	法人	1	1
	府中市	5	4

4 働きやすい職場環境の整備

【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

【法人】法人の経営成績は、2 病院の合計で 43,489 千円の黒字決算となり、経常収支比率 101.3%でした。

法人としても収益目標は達成しましたが、市からの繰入金 490,000 千円（当初：400,000 千円、追加：90,000 千円）により経営安定が図

られたものです。

※経営成績（繰入金を除く）

府中市民病院	▲154,572 千円
府中北市民病院	▲291,939 千円
法人全体	▲446,511 千円

指標

項目	府中市病院機構		
	目標値	実績値	増減
経常収支比率（経常収益／経常費用）（％）	101.1	101.3	0.2
医業収益比率（医業収益／医業費用）（％）	92.8	90.9	▲1.9
給与費比率（給与費／医業収益）（％）	64.5	72.4	7.9
医業収益（百万円）	2,929	2,970	41
入院収益（百万円）	1,548	1,688	140
外来収益（百万円）	1,163	1,186	23

※経常収支比率は、府中市からの繰入金を算入後の数値です。

2 収益の確保及び費用の節減

【府中】 医事課職員を、積極的に診療報酬関連研修会に参加させ、今年度の加算・管理料等の新規申請件数は、7件でした。新たな検査として睡眠時無呼吸症候群の検査導入に伴い、必要な検査機器等を整備しました。入院患者の日常生活品を、業者によるCSセットを導入することで、病院経費の削減を図りました。備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを1本化することにより、支出のチェック機能を強化しました。

【府中北】 市立病院時代から経費削減を実施しているため、CSセットも既に導入しており、今年度の新たな取組みはありませんでした。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

【法人】 市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計に取り組みました。

【法人】 新病院の機能として、地域包括ケアの推進体制について、市と協議を継続しています。

【法人】 新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数

等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とにならないよう留意します。

また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めます

2 医療機器などの更新

【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。

決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。

本年度の投資的経費は、132,706千円で、目標限度額の範囲内としました。

内訳	投資額
府中市民病院	101,103千円
主な購入機器	透析機器一式（透析室） 超音波診断装置（透析室） コンメドシステム（手術室） 低温プラズマ滅菌器（中央材料室） 全自動血液ガス分析装置（検査科） 多項目自動血球分析装置（検査科） 血液脈派検査装置（検査科） ハンフリーフィールドアナライザー（眼科） ホットパック（リハビリ科）
府中北市民病院	31,603千円
主な購入機器	ビデオスコープシステム（内科） 膀胱腎盂ビデオスコープ（泌尿器科） 自動ジェット式洗浄装置（中央材料室） 大型乾燥機（中央材料室）

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成24年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

1 予算

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	3,157	3,447	290
医業収益	2,929	2,970	41
運営費負担金	228	268	40
運営費交付金	—	198	198
その他医業収益	—	11	11
営業外収益	99	39	▲ 60
運営費交付金	91	23	▲ 68
その他医業外収益	8	16	8
資本収入	226	123	▲ 103
運営費交付金	80	—	▲ 80
長期借入金	146	123	▲ 23
その他資本収入	—	—	—
その他の収入	—	—	—
計	3,482	3,609	127
支出			
営業費用	3,001	3,271	270
医業費用	2,994	3,266	272
給与費	1,889	2,151	262
材料費	655	510	▲ 145
経費	441	596	155
研究研修費	9	9	—
一般管理費	7	5	▲ 2
営業外費用	81	36	▲ 45
資本支出	276	264	▲ 12
建設改良費	146	133	▲ 13
長期借入金返還金	130	131	1
その他の支出	—	—	—
計	3,358	3,571	213

2 収支計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
収益の部	3,283	3,507	224
営業収益	3,184	3,468	284
医業収益	2,929	2,970	41
運営費負担金収益	228	268	40
運営費交付金収益	—	198	198
その他医業収益	—	11	11
資産見返物品受贈額戻入	27	21	▲ 6
営業外収益	99	39	▲ 60
運営費交付金収益	91	23	▲ 68
その他医業外収益	8	16	8
支出の部	3,246	3,458	212
営業費用	3,165	3,422	257
医業費用	3,158	3,417	259
給与費	1,944	2,151	207
材料費	655	510	▲ 145
経費	441	596	155
研究研修費	9	9	—
減価償却費	109	151	42
資産減耗費	—	—	—
一般管理費	7	5	▲ 2
営業外費用	81	36	▲ 45
臨時損失	—	—	—
純利益	37	49	12
目的積立金取崩額	—	—	—
総利益	37	49	12

3 資金計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
資金収入	3,757	3,640	▲117
業務活動による収入	3,256	3,180	▲76

診療業務による収入	2,929	2,653	▲276
運営費負担金、交付金による収入	319	490	171
その他業務活動による収入	8	37	29
投資活動による収入	80	100	20
運営費交付金による収入	80	—	▲80
その他投資活動による収入	—	100	100
財務活動による収入	146	123	▲23
長期借入による収入	146	123	▲23
その他財務活動による収入	—	—	—
府中市からの繰越金	275	237	▲38
資金支出	3,757	3,640	▲117
業務活動による支出	3,075	3,136	61
給与費支出	1,889	2,119	230
材料費支出	655	450	▲205
その他業務活動による支出	531	567	36
投資活動による支出	146	121	▲25
有形固定資産の取得による支出	146	120	▲26
その他投資活動による支出	—	1	1
財務活動による支出	130	131	1
長期借入金の返済による支出	—	—	—
移行前地方債償還債務の償還による支出	130	131	1
次期中期目標の期間への繰越金	406	252	▲154

第6 短期借入金の限度額

該当なし

第7 剰余金の使途

平成24年度決算によって生じた剰余金については、全て積み立てました。

監査報告書

地方独立行政法人府中市病院機構

理事長 多田敦彦 様

私ども監事は、地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項の規定に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第1期事業年度の業務及び会計について監査を行ないました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

私ども監事は、理事会その他重要な会議に出席する外、両監事で定めた業務の分担により、地方独立行政法人府中市病院機構監事監査規定に従い、理事長等から業務運営の報告を聴取し、重要な文書を閲覧する等により業務及び財産の状況を調査し、事業報告書、財務諸表及び決算報告書につき検討を行いました。

また、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等に関して、理事等から報告を求め、その有無を調査いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表及び損益計算書は、法令等に従い、法人の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) キャッシュ・フロー計算書は、法令等に従い、各活動区分に従って法人のキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 利益の処理に関する書類（案）は、法令等に適合し、かつ、法人財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (5) 行政サービス実施コスト計算書は、法令等に従い、業務運営に係るコストの状況を発生原因ごとに正しく示しているものと認めます。
- (6) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (7) 決算報告書は、法令等に従い、予算区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (8) 理事の業務遂行に関しては、不正の行為または法令等に違反する重大な事実は認められません。

なお、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等についても理事の義務違反は認められません。

平成25年6月25日

地方独立行政法人府中市病院機構

監事 浅田勝彦



監事 岸田光弘

